

観光と農業のにぎわい⑯

～農水產物流通・加工・観光拠点施設～

これまで、当該拠点施設を支える農地の多面的機能を説明してきましたが、今月は、その機能の一つである「地域集落の景観を保全する」機能について説明します。

地域で農業が営まれることにより、畑で育った作物と集落の家屋、その周辺の川や山が一体となって伝統的集落の形態を有し、貴重な景観資源となっています。

そこで、町内の代表的な伝統的集落形態を紹介します。



吳屋集落

集落背後の吳屋モーには、吳屋の石獅子、上
又嶽、吳屋又殿などの史跡があり、集落周辺には農地が広がっています。

西原ハイツから吳屋集落を望む



小波津集落

集落背後の上又山周辺には、上又嶽、亭良佐井、
津記武多グスクなどの史跡があり、集落前面には農地が広がっています。

役場庁舎から小波津集落を望む



本町では、農業を営む既存集落地域において、伝統的集落の形態が維持されていることから、今後も農地の保全・活用を図っていきます。